

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和7年度第7回入間市上下水道審議会
開 催 日 時	令和8年3月23日(月) 午後3時00分開会・午後5時00分閉会
開 催 場 所	市役所本庁舎 5階 全員協議会議室
議 長 氏 名	入間市上下水道審議会 会長 相葉 学
出席委員(者)氏名	相葉 学、近藤 孝夫、福島 信久、奥富 茂生、 小川 晋、田中 三郎、佐伯 進、長澤 典子、宮寺 弘隆、 市原 義道、久保田 清美、池上 公子、青山 友子
欠席委員(者)氏名	福島 和弘
説明者の職氏名	3 議題 (ア)・(イ) 上下水道部参事兼上下水道経営課長 藤田 拓也
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 会長挨拶 3 報告事項 4 議題 (1) (ア) 上下水道ビジョンについて (イ) 令和8年度入間市水道事業会計の予算について (ウ) 令和8年度入間市下水道事業会計の予算について (2) その他 5 閉 会
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	・令和7年度第7回入間市上下水道審議会会議次第 ・席次表 ・資料1-2 上下水道ビジョン
事務局職員職氏名	上下水道部 石原上下水道部長、藤田上下水道部次長 上下水道経営課 山崎副主幹、田島副主幹、松尾主査、鈴木主事、

	<p style="text-align: center;">小野寺主事補</p> <p>水道施設課      内沼課長、野口主幹、山田主幹、細野主査</p> <p>下水道施設課    高野課長、熊倉主幹、佐々木主幹、田中副主幹、 高田副主幹</p>
<p style="text-align: center;">会議録作成方法</p>	<p style="text-align: center;">要点筆記</p>

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### ○審議会の公開

審議会の内容は、原則公開とすることについて承認された。

#### ○審議会の会議録への署名

会議録に署名する委員については、池上 公子委員が指名された。

#### ○議題

(1) (ア) 上下水道ビジョンについて

(イ) 令和8年度入間市水道事業会計の予算について

(ウ) 令和8年度入間市下水道事業会計の予算について

(2) その他

- ・ 報告以外で審議委員から意見があったため、下記のとおり記載する。

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
<p>会 長</p> <p>石 原 部 長</p>	<p>(会長挨拶)</p> <p>○報告事項</p> <p>皆様、こんにちは。日頃より本市の上下水道事業にご理解を賜りましてありがとうございます。議事に入ります前に、私から 1 点、皆様にご報告をさせていただきます。</p> <p>去る令和 8 年 2 月 13 日から 3 月 16 日にかけて「入間市議会 3 月定例会 (第 1 回)」が開催され、同議会において、皆様よりご答申をいただきました上下水道の料金改定について議案として上程いたしました。結論から申しますと、賛成多数で可決されました。水道料金につきましては改定率 35%、下水道使用料につきましては改定率 33%ということで、原案のとおり可決されましたことをご報告申し上げます。皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>議会での質疑内容について簡潔にご紹介いたします。まず、水道事業に関しましては、管路の老朽化の状況や、管路・施設を更新するための費用の試算について質問がありました。また、水道料金改定は令和 8 年 10 月からとなりますが、それまでの間の市民への具体的な周知方法についても質疑がございました。これらにつきましては、当審議会でご協議いただいた内容を踏まえ、藤田次長をはじめ各課長がしっかりと答弁を行い、無事に可決という運びとなっております。また、下水道事業に関しましては、現在の収支状況についての質問がございました。その他、使用水量が少ない世帯への配慮はなされているのか、一般的な家庭での具体的な値上がり額はどの程度になるのかといった質問に対しても答弁を行い、無事に可決されましたことをご報告いたします。</p> <p>本日も協議をいただきます「上下水道ビジョン」につきましても、今</p>

発 言 者	発 言 内 容
藤 田 次 長	<p>回の料金改定に沿った形で議論を進めてまいります。ぜひ深みのあるご議論をお願い申し上げまして、私からの報告とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>○議題</p> <p>(1) (ア) 上下水道ビジョンについて</p> <p>資料 1-1 上下水道ビジョンについて</p> <p>資料 1-2 上下水道ビジョン</p> <p>資料 1-3_入間市の理想像</p> <p>(説明者：日水コン社)</p> <p>ただいまご説明いたしました基本施策は、まだ決定する段階ではございません。つきましては、委員の皆様引き続きご検討いただければと思います。それでは、ここまでの説明内容につきまして、皆様からご質問等がございましたら伺いいたします。</p>
会 長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、ただいまの説明内容に対して、委員の皆様からご意見やご質問がございましたらお願いいたします。なお、質疑応答につきましては、一問一答形式で進めさせていただきます。ご発言の際は、はじめにお名前をおっしゃってからご発言いただくようよろしくお願いいたします。</p>
A 委 員	<p>パワーポイント資料の p.3 にある「基本理念」と「ビジョン」の言葉の定義について質問します。</p> <p>資料の下部には「基本理念とは、上下水道ビジョンの根幹をなす考え方」と記載されていますが、資料の上部の図は「基本理念を達成するために基本方針と基本施策がある」という構成になっており、基本理念が目標のように位置付けられているように見受けられます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
会 長  藤 田 次 長  A 委 員	<p>「基本理念」とは、民間企業に例えるなら「企業理念」にあたるもので、事業に携わる方々の「本来こうあるべき」という思いが込められた事業運営の基盤となる考え方です。直接事業に携わっていない私たち委員が意見を加える性質のものではなく、あくまで「事業のベース」となる考え方であるはずですが、そのような「基本理念」が「目標」として位置付けられていることに違和感があります。</p>
	<p>本来、「目標」として位置付けるべきは「ビジョン」ではないでしょうか。「ビジョン」とは、10年後の将来像や目標であり、「そこを目指して誰が何をしていくのか」を示すものです。それが「基本方針」や「基本施策」へと繋がっていきます。よって、私はこの資料構成には納得できません。</p>
	<p>平成29年に作成された「入間市新水道ビジョン」も同様の構成でしたが、当時から「基本理念」の認識に相違があったのではないかという印象があります。この部分が理解できないまま進みそうなため質問をさせていただきました。</p>
	<p>「基本理念とは何か」「ビジョンとは何か」という用語の定義と位置付けを明確に整理していただきたいと思います。</p>
<p>ありがとうございます。A委員の意見に対して、ご意見はありますでしょうか。</p>	
<p>「基本理念」とは「安全で安心して上下水道サービスを維持できること」と考えておりますが、その位置付けを整理しつつ、10年後の「ビジョン」をどのように描くかを再検討し、資料の構成や表現についても、わかりやすい形となるよう見直してまいります。</p>	
<p>資料の構成の点から申しますと、「基本理念」を頂点として、その実</p>	

発 言 者	発 言 内 容
藤 田 次 長	<p>現に向けて「基本方針」と「基本施策」へと繋がる流れに違和感を覚えます。本来、最上位に位置付けられるべきは「基本理念」ではなく、「ビジョン」ではないでしょうか。本資料からは、上下水道事業に携わる皆様の「10年後にどうしたいのか」という思いが見えません。</p> <p>また、「基本理念」は諮問書に明確に記されており、「入間市新水道ビジョン」及び「入間市下水道事業中長期経営計画」の基本理念として、「安全で安心できる上下水道施設の維持・管理と健全で安定した持続可能な上下水道事業経営の強化を図る」との記載があります。私はこれが「基本理念」であると認識しておりましたが、この審議会ですべて「基本理念」を議論し、策定する必要があるのかと疑問に思い、質問いたしました。</p> <p>A 委員のご発言のとおり、「基本理念」は皆様の中で揺るぎないものとして共有するものであると考えます。そのため、まずはその考え方に相違がないかを確認するため、「基本理念」を資料に記載しています。ここで「基本理念」を新たに変わる意図はなく、上下水道事業の「基本理念」を皆様と確認できればと考えておりますが、ここで別の考え方があれば、ご意見をいただければと思います。</p>
A 委 員	<p>私が意見している点は、本資料の図の階層に違和感があるということです。最上位に「ビジョン」が位置するのであれば、理解できます。「ビジョン」は目指すべき目標であるからです。しかし、この図では最上位に「基本理念」が置かれています。本来は、「基本理念」がベースとしてあり、その上に「ビジョン」や「基本方針」が位置する構造になるべきではないでしょうか。このような図の表し方では、「基本理念」をこれからまた新たに考え直さなければならないのかと誤解してしまいます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
藤 田 次 長	位置付けを整理し、分かりやすい構成に変更する方向で再度検討させていただきます。
山 崎 副 主 幹	基本理念と基本方針の間にビジョンを位置付けるべきというご指摘でよろしいでしょうか。
A 委 員	<p>そういう意図ではなく、「基本理念」が土台となり、その土台の上に「ビジョン」を描き、その「ビジョン」を具体的にどう実現していくかを「基本方針」や「基本施策」として示すべきということです。「基本理念」がルールとなり、このルールを逸脱しないようビジョンを描くという考え方になります。</p> <p>また、「基本理念」は上下水道事業に関わる人々が考えるべきことであり、専門家ではない私たちが意見を加えることに違和感があります。</p>
山 崎 副 主 幹	「基本理念」は上下水道関係者が定め、それに沿ったものになっているかどうかを委員の皆様に審議していただくということで承知いたしました。
A 委 員	例えば、新しく会社が設立されたとき、企業理念は他から募集するものではなく、社員自らが考えるものです。なぜなら、外部の人間は客観的な意見を述べることができたとしても、事業のあるべき姿を十分には理解していないからです。つまり、事業の根幹となる「基本理念」は、事業に携わる者が決めるべきと考えます。
山 崎 副 主 幹	承知しました。基本理念は、事務局で考えさせていただきます。

発 言 者	発 言 内 容
A 委 員	私の要望に伝わりづらい点があれば、改めてお伝えします。
山 崎 副 主 幹	疑問等があれば改めてご意見をいただきつつ、事務局で考える方針といたします。
A 委 員	ご検討をお願いします。
山 崎 副 主 幹	承知いたしました。資料 1-2 の p.4-1 の図については、ご指摘を踏まえて修正いたします。
会 長	それでは、基本理念 1~4 の中から本審議会にて選出するのではなく、事務局が定めた案に対して審議会で意見を募る、という進め方でよろしいでしょうか。
A 委 員	はい。ただし、あくまで私個人の意見であり、他の委員の見解についてはわかりません。
会 長	この計画全体の名称が「上下水道ビジョン」であるため、図の階層内に改めて「ビジョン」という項目を設けると、混同を招く恐れがあります。
A 委 員	平成 29 年の「新水道ビジョン」も同じ作りですが、本来の構成に問題があるのではないのでしょうか。本来の「上下水道ビジョン」とは、描いた将来像（ビジョン）に向けてどう行動するかを示すものです。
会 長	国土交通省の方で「基本理念」「基本方針」「基本施策」の 3 段階を提示していて、全国の事業者も同様の構成を採用しているのでしょうか。

発 言 者	発 言 内 容
日 水 コ ン	<p>か。</p> <p>ご指摘の通り、資料 1-2 の p.4-1 の図は、矢印が唐突であり、違和感を生む構成となっているため、本図は改めて整理いたします。計画全体の名称が「上下水道ビジョン」であり、階層内に改めて「ビジョン」という項目を設けることには違和感がありますので、国の計画の構成も踏まえつつ、再整理いたします。</p>
会 長	<p>本議論は上下水道ビジョンの大前提になりますので、他の委員からご意見やご質問があれば、ぜひお願いいたします。</p>
B 委 員	<p>私は、耐震化に非常に関心があります。本日の説明で、令和 7 年度に策定した「上下水道耐震化計画」を初めて知りました。どのような計画か教えていただけますでしょうか。</p>
藤 田 次 長	<p>「中期耐震化計画」は既に審議会でご紹介しており、35%の料金改定が必要であるをご説明した際の根拠資料です。今後 30 年間にどれだけの費用が必要かを試算した結果、30 年間で 704 億円が必要であり、直近 10 年間で 260 億円、1 年間で約 26 億円の工事量が必要になると試算されました。</p>
B 委 員	<p>料金改定率 35%という数値は「中期耐震化計画」に基づいており、今後どれだけの事業費が必要になるのかを試算し、その結果として改定率が導き出された、という理解でよろしいでしょうか。</p>
藤 田 次 長	<p>はい。名称は「中期耐震化計画」となっておりますが、実際には耐震化や老朽化に伴う更新事業等も含め、今後必要となる費用を試算した計</p>

発 言 者	発 言 内 容
B 委 員	<p>画です。</p> <p>少々理解が追いついていない部分があります。料金改定の際に検討した計画のことを令和 7 年度に策定した「上下水道耐震化計画」と呼んでいるということでしょうか。計画書のようなものはあるのでしょうか。</p>
日 水 コ ン	<p>料金改定の際に検討した計画は「中期耐震化計画」であり、「上下水道耐震化計画」は国土交通省に提出した資料です。</p>
藤 田 次 長	<p>能登半島地震の教訓から、岸田元内閣総理大臣より「重要施設に接続する管路の整備を進めるよう」指示がありました。「上下水道耐震化計画」は、まさにその計画であり、先ほどご説明いたしました「中期耐震化計画」とは異なるものでございます。</p>
B 委 員	<p>つまり「入間市上下水道耐震化計画」という計画が存在するのですね。</p>
藤 田 次 長	<p>はい。重要施設に接続する管路の整備を進める計画を策定して国に提出するよう指示を受け、入間市も対応しました。</p>
B 委 員	<p>了解しました。</p>
A 委 員	<p>資料 1-2 の p. 5-1 に記されている施策一覧について、2 点質問があります。</p> <p>1 つ目の質問です。p. 5-1 の施策は、「現在も実施中であり、今後も継続していく施策」と、「今回新たに達成に向けて取り組む施策」の 2 種類があるように見受けられますが、その認識でよろしいでしょうか。も</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>し両者が含まれるのであれば、色分け等をしないと新たな施策がわかりにくいのではないかと思います。すべてが新たな施策ということではないでしょう。</p>
日 水 コ ン	<p>これまで、水道事業は「新水道ビジョン」、下水道事業は「中期経営計画」という別々の計画を策定していましたが、今回、初めて上下水道で一体の計画を策定したものもあります。そのため、上下一体という視点では、すべての施策が新たな施策となります。水道事業については「新水道ビジョン」から引き継いでいる施策もありますが、その区別は行っておらず、従前の計画から引き継いでいるものもあれば、上下水道共通の施策として新たに策定した施策もあります。</p>
A 委 員	<p>新たな施策が含まれているという認識でよいでしょうか。</p>
日 水 コ ン	<p>はい。</p>
A 委 員	<p>そのような視点から色分けしていただけると、わかりやすいと思います。</p>
日 水 コ ン	<p>下水道事業において「ビジョン」に相当する計画が存在せず、その区分が難しいという実情があります。</p>
A 委 員	<p>将来的に市長へ説明し、承認が得られれば市民へ公開することになると思いますが、その際、見栄えを良くするために「新たな施策」と「継続する施策」が色分けされているとわかりやすいと思います。</p>
日 水 コ ン	<p>承知いたしました。ご要望があれば、色分けをして記載いたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
A 委 員	<p>2 つ目の質問です。施策の文中に、「管理の徹底」や「適正な維持管理」という表現が散見されます。これらは、実行計画に落とし込む段階で、具体的な指標を設定するのでしょうか。</p>
日 水 コ ン	<p>はい。今回お示しした部分は、ビジョンとして今後の施策の方向性を示すものであるため、抽象的な表現にとどめております。</p> <p>具体的な指標につきましては、次回の審議会でご提示する第 6 章「経営戦略」にてお示しします。この「経営戦略」では、具体的に何を実施するかを示し、数値目標を設定できるものについては目標値を定めま す。前期 5 年分の計画を策定し、その中に具体的な数値目標を記載する構成になります。</p>
A 委 員  会 長	<p>次回の審議会での提示を期待しています。ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。それでは、その他にご意見がないようですので議題 1「上下水道ビジョン」についての議論を終えます。</p> <p>○議題</p> <p>(1) (イ) 令和 8 年度入間市水道事業会計の予算について 資料 2-1 令和 8 年度入間市水道事業会計 (説明者：藤田次長)</p> <p>(ウ) 令和 8 年度入間市下水道事業会計の予算について 資料 3-1 令和 8 年度入間市下水道事業会計 (説明者：藤田次長)</p> <p>会 長 ありがとうございます。それでは、「令和 8 年度水道事業会計予</p>

発 言 者	発 言 内 容
C 委 員	<p>算」及び「令和 8 年度下水道事業会計予算」についてご質問、ご意見がありましたらお願いします。</p> <p>資料の数値について、1 点確認させてください。</p> <p>資料 2-1 及び 3-1 に、水道事業と下水道事業の業務予定量がそれぞれ記載されていますが、特に下水道事業の数値について気になった点があります。</p> <p>資料 3-1 「2. 業務予定量」において、水洗化戸数は対前年比 400 戸増、0.6%増加である一方、年間総排水量が 73 万 m<sup>3</sup> 増、5.29%増加となっています。戸数の増加幅に対して、排水量の増加量が大きいように見受けられます。また、資料 2-1 の水道事業に関しては年間総給水量が対前年比 7 万 6,080m<sup>3</sup> 減で減少が予測されているのに対し、下水道事業の年間排水量は大幅に増加する予測となっています。</p> <p>新たに産業系の工業団地の開発が予定されている等、何か特段の要因があるのでしょうか。その背景や要因について教えてください。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。事務局から回答をお願いします。</p>
田 島 副 主 幹	<p>下水道業務量における年間排水量の算定方法についてご説明いたします。年間排水量は、資料 3-1 の p.2 「⑤流域下水道維持管理負担金」の「汚水処理水量」と連動しています。「汚水処理水量」の算定方法については、令和 7 年度から令和 8 年度にかけて変更がありました。その理由は、令和 7 年度の予算では算定水量が実態に対して少なく、令和 8 年度の予算を編成する段階で不足する恐れがあり、算定方法に問題がある可能性があったため、見直しを行ったことによります。具体的には、水量を過去 2 ヶ年平均ではなく、過去 5 ヶ年平均に変更しました。その結果、「汚水処理水量」が 1,453 万 m<sup>3</sup> となりました。この算出方法の変更</p>

発 言 者	発 言 内 容
C 委 員	<p>に伴い、前年度と比べて排水量が大幅に増加したという状況となっております。</p> <p>実際の排水量を積み上げた数値ではなく、予算確保の観点から算出方法を見直した結果であるということですね。分かりました。</p>
藤 田 次 長	<p>補足させていただきます。下水道事業において水量の予測が困難な要因として、台風や大雨の際に「不明水」と呼ばれる雨水が下水管内に流入する事象があります。過去 5 年間は、幸いにも大きな台風の接近がなかったため、実態として水量が抑えられていました。しかしながら、今後、大規模な台風が発生した場合、従来の実績ベースでは予算措置や対応が追いつかなくなる恐れがございます。そのため、先ほどご説明したとおり、算定方法を見直し、より実態に即した適正な考え方へと改めた次第です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。その他に、ご質問、ご意見はありますでしょうか。</p>
B 委 員	<p>令和 8 年度に予定されている耐震化事業は、先ほどご説明いただいた「中期耐震化計画」に基づいていないのでしょうか。</p> <p>当該計画が令和 7 年度に策定されたばかりであるため、令和 8 年度の事業計画にはまだ反映されていない、という認識でよろしいでしょうか。</p>
内 沼 課 長	<p>令和 8 年度までの事業につきましては、事前に策定していた「短期耐震化計画」に基づいて実施しております。一方、「中期耐震化計画」に基づく事業につきましては、令和 9 年度から実施していく予定です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p data-bbox="252 371 461 405">B 委 員</p> <p data-bbox="252 689 461 723">山 崎 副 主 幹</p> <p data-bbox="252 1451 461 1485">会 長</p>	<p data-bbox="515 371 1018 405">了解しました。ありがとうございます。</p> <p data-bbox="485 562 775 595">○議題4（2）その他</p> <p data-bbox="485 689 1430 1037">上下水道経営課の山崎でございます。本日はご多用の中、第7回上下水道審議会にご出席賜り、誠にありがとうございました。今年度の審議会につきましては、本日が最終回となります。今年度の運営に際しましては、当初の予定より1回多く開催させていただきましたが、委員の皆様のご多大なるご協力により、無事に全日程を終了することができました。厚く御礼申し上げます。</p> <p data-bbox="485 1070 1430 1350">次回の日程につきましては、現時点では詳細未定でございますが、6月下旬頃に「令和8年度第1回上下水道審議会」を開催させていただく予定でございます。詳細が決定しましたら、メール等にて開催通知をお送りいたします。来年度におきましても、引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。</p> <p data-bbox="515 1451 1278 1485">以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたしました。</p> <p data-bbox="485 1518 1430 1608">これで議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

8 年 5 月 28 日

議 長 の 署 名

相葉 亨

議長が指名した者の署名

池上 公子